

経験者採用

入省者インタビュー vol.1 (技術/土木)

主な経歴

- 道路標識会社(デザイン設計・施工管理)に7年勤務
○出産を機に退職
- 子育てをしながら、イベント企画やDTP、建築外構会社(3DCADでの設計・施工管理)で働くも、“土木に戻りたい”との気持ちが高まり今回転職

●令和3年4月 中部地方整備局 採用

●令和3年4月～令和4年3月
名古屋国道事務所
交通対策課 特殊車両係長

●令和4年4月～現在
(本局) 企画部
広域計画課 地方計画第二係長



鬼頭 由夏さん
【採用2年目】

小川課長. 本日は、経験者採用にて入省された鬼頭係長からお話を伺います。よろしくお願いいたします。

鬼頭係長. よろしく申し上げます！

1年目はどんな仕事をしていましたか？

1年目は名古屋国道事務所特殊車両の許可申請に係わる業務を行っていました。未経験の仕事でしたが、民間企業の方々と打合せする機会が多かったので、そのあたりは、抵抗なく進められました。

入省2年目の今年は、また新しい仕事ですが今はどのような感じですか？

今は異動したばかりで、業務の全体像を知ることで精一杯の状況ですが、日に日に重要な部署にきていけるかなと実感しています。業務の内容としては、中部地区の将来像等について描くこと。関係機関と連携して進めていくため、自分のやりたかった仕事内容に非常に近いのかなと思います。

これまで人生経験を色々されている中で、なぜ転職しようと思われたのですか？

実を言うと、「土木を辞めた人・戻ってきた人」というインタビューの記事を見ました。

“戻った”というのがキーワードで、“土木に戻りたい”という気持ちがすごく高まり、もしかしたら自分も戻れるかもしれないという感覚が生まれました。転職しようと思ったきっかけは“土木に戻りたい”という強い気持ちが生まれたことです。

入省前と実際の業務でギャップは？

土木というと現場に行く仕事が多かったイメージですが、思ったより事務処理が多いなど。

入省時の役職として係長、そのあたりでプレッシャーを抱えていることはありますか？

民間企業の係長と比べて、係長が負う責任が大きい気がします。プレッシャーを感じることもありましたが、周りの職員から「中途採用で入って大変だね」「力になるよ」と非常に多くの声をかけてくださり、職場内で中途採用への理解もあり、助かっています。

前職の仕事内容は活かされていますか？

前職の仕事が全部活かせるかといったらそれはなくて、ポイントポイントでほんの一部のところは、ここは私の方が前職の経験があるからちょっと詳しいかなとか。そういったことが今後も出てくるのかなと思います。

職場の雰囲気・働きやすさはどうですか？

異動が多い職場なので、「僕も異動してきたばかりでわからないから教えて」と周囲からよく聞こえてきます。自分も1年目なので、気兼ねなく周囲に質問してもよいと感じ、抵抗なく話しかけることができる、コミュニケーションの取りやすい環境です。

給与・収入面、そのあたりは？

コロナ禍でも、収入が安定して見込めるというのは、公務員の一番の魅力かなと思います。民間企業ではボーナスカットということ非常多く耳にして。収入が安定するということが、一番良かったなと思っています。

家での生活に変化はありましたか？

テレワークを初めて経験して、子供が帰ってきたときに「おかえり」と声をかけることができるので、家族のコミュニケーションがすごく深まったなと感じています。

今回大きな人生の選択の一つするにあたって、ご家族やご友人と相談はしましたか？

家族からは「あなたがやりたいならば頑張れ。公務員の方が労働時間が安定していると思う、応援するよ」と言ってもらえましたね。

実際今回転職してみて、選択に後悔はありませんか？

後悔はないです。電車通勤が初めてで非常に4月は苦しく、少し体重が減った。良い運動だと思っています(笑)1年で異動というのも、他の中途採用者からは「うーん」という声が上がると、私は1年で異動するメリットもあると感じました。やはり、色々な方とコミュニケーションが必要で、知り合いの数が多い方が、仕事はやりやすいかなと。中途採用で入って、知っている方が少ない分、異動で人脈が広がるのが、良かった事ですね。

これからも広げていきたいと思っています。

今後何か、中部地方整備局で挑戦してみたいこと・携わってみたい仕事はありますか？

大学の同級生が中部地整に3人いますが、自分よりも上の役職です。なるべく早くそこにたどり着きたい。努力次第なのかなと思います。

1年目の業務内容の場合、もともとやってみたい仕事ではなかったが、やってみるとおもしろい。色々な分野を経験してみたいというのは正直な気持ちです。知らなかった分野を発見したいと思います。

今、人生の選択に悩んでいる方とか考えている方にアドバイスはありますか？

数少ない女性技術者として、土木の世界に飛び込んで活躍していた仲間達も、出産を機に土木の仕事辞めてしまいました。私の場合、また土木の仕事に戻って来て、今までの土木以外の経験も無駄ではなかったと感じています。

子育てが落ち着いて、また土木に戻りたいと思っている女性の技術者、特に私と年代の方は諦めずに挑戦してほしいなと思います。

出産・育児等を経験されて、また仕事してみたいと思う時にも中部地整なら働くことができるのではと思いますね。

そうですね、おすすめです。子供が大きくなって仕事ができる環境になった時に、その中の選択として、中部地整は30代・40代の女性も非常に働きやすいと思います。



本日はお話を聞かせて頂き、ありがとうございました。今後も一緒に頑張っていきたいと思います。ぜひよろしくお願いいたします。

聞き手: 企画部企画課 小川課長

インタビュー R4.5.18

